



2021年8月27日

関係各位様

日本水上スキー・ウエイクボード連盟  
事務局

第67回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会 大会概要-3

大会要項

日程	10月13日(水)～10月17日(日)
開催場所	滋賀県草津市下寺町地先津田江浦(琵琶湖)
主催	特定非営利活動法人日本水上スキー・ウエイクボード連盟
主管	特定非営利活動法人日本水上スキー・ウエイクボード連盟大会組織委員会 滋賀県水上スキー連盟、京都府水上スキー連盟
後援	滋賀県、草津市、草津市教育委員会、公益財団法人マリンスポーツ財団、
競技方法	日本水上スキー・ウエイクボード連盟国内競技規則による
参加資格	日本水上スキー・ウエイクボード連盟国内競技規則に基づく有資格者
競技種目	スラローム、トリック、ジャンプ
クラス	日本水上スキー・ウエイクボード連盟国内競技規則による オープン(年齢制限なし)、U-10(9歳以下)、U-14(10～13歳)、 U-17(12～16歳)、U-21(17～20歳)、 21+(21歳以上)、35+(35歳以上)、45+(45歳以上)、 55+(55歳以上)、65+(65歳以上)、70+(70歳以上)、 75+(75歳以上)、80+(80歳以上)、85+(85歳以上)、
運営日程	10月13日(水) 設営、公開練習 10月14日(木) 競技、開会式、スキーヤーズ・ミーティング 10月15日(金) 競技 10月16日(土) 競技 10月17日(日) 競技、閉会式 (土曜、日曜は、高校生以下の競技を優先します。)
予備日	11月3日(水・祝)～11月7日(日) 大分県中津市耶馬溪アクアパーク
表彰	各クラスの総合および種目別の成績上位者 男女オープンクラスの総合優勝者には桂宮杯授与
公認	今大会は、設備、環境、ジャッジから日本記録が認められる公認大会
助成	今大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催

大会役員

大会名誉顧問	三日月大造	滋賀県知事
大会顧問	笹川善弘	公益財団法人マリンスポーツ財団会長
大会会長	本間徹	日本水上スキー・ウエイクボード連盟会長
大会副会長	橋川渉	滋賀県草津市長



大会副会長	北島栄子	滋賀県水上スキー連盟会長
大会参与	藤田雅也	滋賀県草津市教育委員会教育長
大会参与	河本英典	京都府水上スキー連盟会長
大会参与	小嶋松久	日本パワーボート協会連盟会長

#### 大会組織委員会

委員長	大西幹雄	日本水上スキー・ウエイクボード連盟理事
副委員長	坂田伸一	日本水上スキー・ウエイクボード連盟理事長
副委員長	山口晃史	京都府水上スキー連盟理事
事務局	長田まり子	日本水上スキー・ウエイクボード連盟事務局
設備*	早野秀人	日本水上スキー・ウエイクボード連盟事務局
フェアネス**	三輪久	日本水上スキー・ウエイクボード連盟理事
ルール***	坂口直樹	日本水上スキー・ウエイクボード連盟ルール委員長
渉外	佐坂潤	全日本学生水上スキー連盟理事長 (兼任日本水上スキー・ウエイクボード連盟理事)
会計	上鶴ボーマン麻夕子	日本水上スキー・ウエイクボード連盟理事
器材***	三船武志	日本水上スキー・ウエイクボード連盟理事
総務***	神谷晴江	日本水上スキー・ウエイクボード連盟事務局
監事 (兼務)	遠藤卓男 *ホモロゲーター	日本水上スキー・ウエイクボード連盟監事 **アンチ・ドーピング ***感染対策

#### ジャッジ

チーフジャッジ 正林道彦 日本水上スキー・ウエイクボード連盟ルール委員会  
ジャッジ 全国の有資格者より選抜された 30 名

#### 曳航艇情報

Ski Nautique 6.2L, 12.5"×15.5", ZERO OFF Rev S

Master Craft PRO STAR 190 2007 model, INDMAR 6.0L MCX, 3×12 3 枚, Zero Off 2009

#### エントリー

- 資格およびクラスは競技規則に準じます。
- エントリー受付：ホームページにてお知らせします。
- すでにエントリーしてくれている方には、個別に組織委員会から連絡して、エントリーの繰越かキャンセルかなどを確認して、対応させていただきます。
- エントリー費

	1 種目	2 種目	3 種目
一般	¥10,000	¥15,000	¥20,000
学生・ジュニア	¥5,000	¥7,500	¥10,000

#### 公開練習

- 大会日程に記載されている公開練習は全エントリー者が有料で参加できます。



- 準備の都合と参加希望人数に応じて、練習の内容、参加人数、1人当たりの時間配分などを主催者側で調整させていただきます。ただし、準備と設営が優先されることをご了承ください。

#### 運営上の注意点

- 救護体制は整えますが、大会中の怪我や病気は、各参加者の責任においても対応をお願いします。
- 貴重品や手荷物などの盗難や紛失、会場内外での事故などについては、大会組織委員会では責任を負いかねますのでご了承ください。
- 交通、宿泊は参加者各自の責任において手配ください。
- 荷物の宅配など受け取り、発送、とも取り扱いません。ご了承ください。
- 参加選手、役員、関係者の肖像権は、主催者である日本水上スキー・ウエイクボード連盟が留保します。
- 開会式、閉会式、表彰式、スキーヤーズ・ミーティングは実施しない場合があります。

#### 感染対策

- 感染対策の運用マニュアルを用意して、専属の管理者にて対応します。
- 参加者へ事前に準備いただくこともあります。適宜お知らせし依頼します。
- 参加予定の方は、選手でも役員でも、ワクチン接種やPCR検査などをご自身で対応いただくことを推奨します。
- 感染に関する情報は日々更新されています。大会組織委員会は、下記の延期および中止の要件以外の不測の状況にも備えて、状況をよく見て判断する体制を整えます。
- 大会期間中に感染者が確認された場合は、濃厚接触者の特定と隔離など然るべき対応をとって、可能な限り大会を遂行します。

#### 大会の延期および中止について

##### 延期の判断

- 予備日に変更して開催する判断は、9月29日までを目安に、下記の中止の判断の内容に準じて決定します。

##### 中止の判断

- 行政から、200名規模のイベントの開催やその参加のための県外からの移動などに対して、予定期間内では中止の指示に該当することが確認される場合、開催は中止とします。
- 中止の決定は開催の直前にもなり得ることをご了承ください。

##### 中止後の対応

- エントリー費は全額返金させていただきます。返金の振込手数料も大会組織委員会で負担します。
- 参加者で手配した宿泊や交通のキャンセルなどの費用は、大会組織委員会は負担できませんので、各自の責任で対応をお願いします。

本件に関する問い合わせ：

日本水上スキー・ウエイクボード連盟 [jwsa-info@jwsa.jp](mailto:jwsa-info@jwsa.jp)

大会組織委員会（大西幹雄、坂田伸一、長田まり子）